

案件概要書

2025年2月25日

1. 基本情報

- (1) 国名：ジブチ共和国（以下、「ジブチ」という。）
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：ジブチ市（人口約 57 万人）、タジュラ州（同 10 万人）、ディキル州（同 10 万人）、アリサビエ州（同 10 万人）、オボック州（同 5 万人）、アルタ州（同 4 万人）
- (3) 案件名：消防救急機材整備計画（The Project for the Improvement of Fire-fighting and Paramedic Equipment）
- (4) 計画の要約：本計画は、ジブチ市及び地方 5 州（タジュラ州、ディキル州、アリサビエ州、オボック州及びアルタ州）において消防・救急機材の整備及びデータ管理・共有システムを導入することにより、火災発生時の消防・救急能力の強化を図り、もって地域住民の安全の確保及び都市機能の強化を通じた、同国における持続可能な経済成長に資する経済社会基盤強化に寄与することを目的とする。

2. 計画の背景と必要性

- (1) 本計画を実施する外交的意義

ジブチは、我が国及び国際社会にとって、欧州や中東から東アジアを結ぶ重要な海上交通路にあたるソマリア沖・アデン湾に位置しており、「自由で開かれたインド太平洋」を実現する上での西の要衝であるとともに、紛争の多発する「アフリカの角」地域において安定した国として位置づけられている。また、我が国の自衛隊も含め、各国のソマリア沖海賊対処の拠点となっている。2009 年に我が国がアデン湾・ソマリア沖での海賊対処行動を開始して以降、2013 年 8 月の安倍総理（当時）のジブチ訪問をはじめ、2019 年 8 月に開催された第 7 回アフリカ開発会議（TICAD7）での日ジブチ首脳会談（ゲレ大統領）や即位の礼の際の河野防衛大臣（当時）や木原総理補佐官（当時）との会談（アブドゥルカデル首相）、2019 年末の河野防衛大臣（当時）や木原総理補佐官（当時）のジブチ訪問、2022 年 8 月に開催された第 8 回アフリカ開発会議（TICAD8）での日ジブチ首脳テレビ会談（アブドゥルカデル首相）等、二国間関係は急速に緊密化し、我が国にとってジブチは戦略的に極めて重要なパートナーとなっている。

また、ジブチは自衛隊の有一の海外拠点の設置に同意している友好国でもあることから、二国間関係を維持・強化することは重要である。

さらに、第 8 回アフリカ開発会議（TICAD8）において、我が国は人間の安全保障を基盤とした強靱で持続可能な社会を構築するためアフリカ諸国と連携していくことを表明しており、本計画はそれを具現化するものである。

- (2) ジブチにおける防災セクターの開発の現状・課題及び本計画の位置付け

ジブチは乾燥地帯（年間平均降雨量 155mm）に属しており、夏季に強い高温風（ハムシン）が吹き、高気温と重なり火災が発生するなど、出火及び延焼の危険性

が高く、火災及び熱傷による死亡率も他の東部アフリカ諸国やアフリカ平均と比べても高い。都市部では、同国の総人口 112 万人（2023 年）のうち約 80%が居住しており、建物の高層化や自動車交通の増加などの都市の急速な発展に都市インフラ整備が追いついておらず、道路が狭隘で未舗装かつ消火用水の確保が困難な地域に低・中所得者層向けの木造住宅が密集している。さらに、工業活動の活性化及びアフリカ最大級のフリー・ゾーン（自由貿易特区）建設、港湾拡張等が進められる中、港湾（タジュラ港、オボック港）やジブチーエチオピアを結ぶ国道を通過する物流量が年々増加し（年約 8%増）、プラント等の特殊火災（水では消火できず、泡沫消火が必要となる火災）や国道での事故、それに伴う火災・延焼への対応も必要になっている。また、地方部においても、2020 年から 2023 年までの 4 年間で、年間 130 件前後の火災が発生している。

このような状況の中、ジブチ国内で運用中の消防署はジブチ市内の 3 か所のみであり、ジブチ市の急速な都市化に合わせた管轄範囲の拡大等のニーズに応えられておらず、また、地方部では機材・人員の揃った運用可能な消防署がないため、全国的な消防サービスを展開できていない。特に地方部は、タジュラ州、アルタ州、オボック州に小型（1,300L）ポンプ車がそれぞれ暫定的に 1 台配備されているのみであり、十分かつ迅速な消防・救急対応ができていないことが課題となっている。

ジブチの消防及び災害現場で発生した傷病者の搬送等の救急対応は国家市民保護局（DNPC : Department of National Civil Protection）が担っており、DNPC の消防活動に対しては、2018 年よりフランスの消防機関から消防技能指導の教官が派遣され、DNPC 職員に対して現在も研修が実施されている。また、地方部の消防署は世界銀行とアフリカ開発銀行の支援により建設されており（タジュラ、ディキルは AfDB 支援により工事完了。アリサビエ、オボックは世銀支援により建設中。）、消防署員については 2021 年から順次増員し、2024 年時点で全国 500 人以上になるまで増員した。これらの施設及び人員の拡大に合わせた機材の増強が必要となっているが、これらの消防署に消防・救急機材は配備されておらず、また現時点では他機関等による具体的な機材配備計画等はない。さらに、DNPC と消防署間で、火災発生件数や事故発生件数、消防・救急対応などに関して十分なデータ管理・共有ができておらず、システムの導入が必要とされている。

ジブチ政府は国家開発計画「ビジョン 2035」の中で「国民の平和と統一」を柱の一つに掲げ、行政サービスへの平等なアクセス及び格差是正を推進するとともに国家の安定・発展のため地方開発を促進するとしている。具体的には、DNPC の「行動計画 2014」において、地方 5 州の州都に消防署を新設し、消防・救急機能を強化するとともに、首都と地方の消防・救急の一体的な対応を目指している。

本計画は、ジブチ市と地方 5 州における消防・救急機材の整備およびデータ管理・共有システムの導入を支援することで、火災・事故発生時の適切な対応を通じ、物的・人的被害、また国道の通行停止等による経済被害を最小限に抑えるものであり、ジブチ国家開発計画が推進する行政サービスの向上及び格差是正に資する優先度の高い計画として位置付けられている。

3. 計画概要

* 協力準備調査の結果、変更されることがあります。

(1) 計画概要

① 計画内容

ア) 機材整備等の内容：10,000 リットル水槽車 5 台（各消防署 1 台）、水槽付ポンプ車（3,500 リットル）7 台（各消防署 1～2 台）、道路救助車 1 台（ディキル州 1 台）、救急車 5 台（各消防署 1 台）、消防機材搬送車 5 台（各消防署 1 台）（合計 23 台、スペアパーツ・機材の操作指導含む）、データ管理・共有システムに必要な機材。

イ) コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容：詳細設計、入札補助、調達監理、市民啓発活動、業務記録のデジタル化・利活用等。

② 期待される開発効果

ジブチ市及び地方 5 州の消防能力の向上（水槽車の積載水：60,500 リットル→101,900 リットル）及び地方 5 州の火災対応能力の向上（火災発生時、10 分以内に消防／救急活動が受けられる住民数：0 人→約 11 万人）により、都市防災機能の強化に伴うジブチ国民並びに国道・港湾利用者の安全性の向上への貢献が期待される。

③ 計画実施機関／実施体制

国家市民保護局（DNPC：Department of National Civil Protection）

④ 他ドナー国・機関との連携・役割分担

タジュラ市とディキル市の消防署建屋については、アフリカ開発銀行の「地方部における社会経済インフラ実現及び経済活動推進支援プロジェクト」にて建設済み。また、オボック市とアリサビエ市の消防署建屋については、世銀の「アフリカの角における強制移住インパクトへの開発対応プロジェクト」にて建設中である。本計画でこれらの建屋に機材を整備することにより、消防及び救急能力の強化に向けた相乗効果が期待できる。なお、他機関による消防機材整備の予定はなく、重複はない。また、「デジタル地理データ整備プロジェクト（2012-2014 年）」で開発したデジタル地理データを活用し、災害リスク箇所を把握・地図上に追記できるアプリ（防災地図プラットフォーム）をフランス開発庁（AFD）がジブチ行政機関向けに開発しており、当該防災地図プラットフォームと本計画で整備予定の機材を連携させることで、効率的な災害対応活動が期待できる。

⑤ 運営／維持管理体制

消防機材について、DNPC は、自ら既存の消防機材を適切に維持管理している。本計画では、大半が既に使用している機材と同機種の拡充を予定しており、技術的な運用・維持管理能力についての懸念は想定されない。また、DNPC は約 500 人の職員を有し、地方の人員も強化されている。

(2) その他特記事項

- 環境社会配慮カテゴリー分類：C
- ジェンダー分類：GI（ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件）
- 所得水準に鑑みた無償資金協力の適正性：ジブチの地方部では年間 130 件前後の火災が発生しているにもかかわらず消防車や救急車の配備がなく、住民の命

や財産に対するリスクが各地方に潜在しており、緊急的な対応が必要とされている。また、ジブチ市では急速な都市化や港湾開発に伴い懸念される火災の増加に対応するため、迅速な消防・救急対応能力の向上が必要とされている（「緊急性・迅速性」）。また、ジブチの累積債務残高は GDP 比 68%（2022 年、IMF・世銀）であり、IMF の DSA においても「ハイリスク」に分類されており、我が国も有償資金協力の実施が困難と判断している（「債務状況」）。さらに、ジブチにおける消防部局の緊急対応は、2023 年開発協力大綱において推進することとしているデジタル変革（DX）によるデータ管理が含まれる（「重要政策との関係」）。加えて、「自由で開かれたインド太平洋（FOIP）」の新たなプランにおいて、インド太平洋の災害対応を流布することを進めている（「外交的観点」）。

4. 過去の類似案件の教訓と本計画への適用

平成 24 年度対ジブチ無償資金協力「ジブチ市消防救急機材改善計画」（事後評価：2017 年度）において、機材の運営・維持管理について技術的な持続性に問題はないとされたが、スペアパーツの国内での確保や、修理に対応する技術者の確保について課題があったことが指摘されている。2025 年 1 月現在、24 時間体制でエンジニアを配置するなどして故障時の対応は確立されており、機材が継続的に活用されていることを確認しているが、本計画では、消防及び救急の能力を一体的に向上させるということを目指しつつ、同国政府の技術・予算面での維持管理能力を協力準備調査で十分に検証し、修理技術者の育成を含む維持管理計画や予算案、スペアパーツ確保、故障機材の修理に関する対応事項を明示的に示し、同国政府の確実な対応を促進する。

以 上

[別添資料] 地図「消防救急機材整備計画」

[別添資料] 写真「消防救急機材整備計画」

地図「消防救急機材整備計画」

【アフリカ大陸地図】



出典：https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Africa_map_blank.svg

【事業サイトおよびエチオピアへの輸送に用いる道路：ジブチ市および地方 5 州】



出典：Google Maps

写真「消防救急機材整備計画」



10,000 リットル水槽車（小型動力付）



3,500L 水槽付ポンプ車



消防機材搬送車



道路救助車



救急車